

「善い行いは後に実を結ぶ」

～人すぐに稔る実にご注意！！～

マルコ3:20~30

■ 私たちの目線

私たちの目線はいつもこの外側で、誰が自分を見ているのか。自分をどう評価しているのか。ということに意識が向かっています。自分自身をどう見ているのか、ということに意識が向かっています。自分自身をどう見ているのか、ということに意識が向かっています。自分自身をどう見ているのか、ということに意識が向かっています。

■ 実を稔らせるために

私たち教会にとって大事なことは、神様を信じる心と、食による喜びです。庭の草花をよく見てください。種を撒いて花が育つ間に、どれだけ雑草が一瞬に芽生えて大きくなって花を咲かせますか。そして、私たちが撒いた本当に良い種が育たないようにしているのではないですか。これが世の中の法則です。私たちは、インターネットの弊害を考えると、「すぐに答えが出てくる」といこと。だから私たち人間は待てなくなりました。

強くなるには、弱くなること。栄えるには、辱めを受けること。栄えるには、辱めを受けること。栄えるには、辱めを受けること。栄えるには、辱めを受けること。

■ 目線を神様に

目線を神様に向けなければなりません。私たちがしなければならぬことは、私たちの目の前にある最も小さいもののために、水一杯を差し出す愛のある行為です。私たちがしなければならぬことは、私たちの目の前にある最も小さいもののために、水一杯を差し出す愛のある行為です。

■ 斜から見る目線

聖書は絶えず3種類の人を出しているのです。当事者と、当事者と向き合う人と、群衆です。あなたはどれですか。私たちは神様の目線に立ってそれを成していかなければならないのに、そのようなか中で一番危険なのは、その斜から見る目線です。どうして、斜から見る目線を持つようになったかということ、あなたが誹謗中傷されたらどうする。そして、私たちの目線はいつも、その自分誰かどう見ているのか気にするので素直になれないのです。

■ 神様は試練の道をゆるされる

見てください。イエスの兄弟と母マリアとあります。一緒に熱心に祈っていた人たちは、当時、「キチガイだ」と言っていた人々です。神様がすることはわからないのです。あなたのことを悪く言っていた人たちが変わるのです。あなたの敵対者が変わるのです。

(要約者: 澤口 建樹)

(5月29日)